

歯科材料 5 歯科用接着充填材料  
管理医療機器 歯科用象牙質接着材 42483002  
(歯科用エッチング材 36153000)

## インパーバボンド

### 【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 〔構成〕

| 構成             | 性状 | 成分                              |
|----------------|----|---------------------------------|
| デンティン<br>プライマー | 液  | 2-HEMA、精製水、4-AET、<br>重合触媒、その他   |
| ボンディング<br>グ材   | 液  | UDMA、TEGDMA、重合触<br>媒、2-HEMA、その他 |
| エッチング<br>ゲル    | ゲル | りん酸、精製水、微粒子けい酸、<br>その他          |

#### 〔原理〕

本材に含まれる接着性モノマーにより歯質を改質し、接着を促進する。可視光線エネルギーによって重合硬化する。

### 【使用目的又は効果】

本材は、歯科充填用コンポジットレジンと歯質（エナメル質・象牙質）との接着に用いる。  
エナメル質に対してはエッチングゲルによる酸処理、象牙質に対してはデンティンプライマーによる前処理をすることにより、エナメル質及び象牙質を含む歯質に良好に接着することができる。

### 【使用方法等】

#### 〔本材と併用する材料〕

歯科充填用コンポジットレジン：  
「ビューティフィル II」、「ライトフィル II」、「ビューティフィル フロー」、「ビューティフィル フロー プラス」

#### 〔本材に使用する機械及び器具〕

歯科重合用光照射器：「ブルーショット」

#### 〔使用方法〕

記載の重合時間（照射時間）は「ブルーショット（ノーマルモード）」を用いた場合を記述しています。他の歯科重合用光照射器などを使用する場合は、付属の添付文書等を参考に本材に適した光量を確保して使用してください。

- 1) 歯面清掃  
通法に従い、歯面清掃を行います。
- 2) 窩洞形成  
通法に従い、窩洞形成を行います。
- 3) 防湿  
ラバーダム等を用い、通法に従い防湿を行います。
- 4) 歯髄保護  
残存象牙質が薄い場合は、局所的に水酸化カルシウム製剤等で覆髄します。
- 5) エッチング処理  
エッチングゲルを窩洞のエナメル質に塗布し、15 秒間放置します。その後、エッチングゲルを水洗・除去し、エッチング処理面をエア乾燥します。
- 6) デンティンプライマー処理  
デンティンプライマーをマイクロブラシファインで窩洞全面に塗布し、可能な限り象牙質のみを 30 秒間マイクロブラシファインでこすって処理します（象牙質のみアクティブ処理）。処理後、充分に処理面をエア乾燥します。
- 7) ボンディング材処理  
ボンディング材をマイクロブラシファインで窩洞全面に

塗布し、歯科重合用光照射器（ブルーショットなど）を用いて 30 秒間光照射して重合させます。

- 8) 光重合型歯科充填用コンポジットレジンの充填・重合・形態修正及び研磨  
使用する光重合型の歯科充填用コンポジットレジンの添付文書等に従って、ペーストの準備、充填及び形態付与、ペーストの光重合、形態修正及び仕上げ研磨を行います。

#### 〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- 1) 窩洞が深い場合は、覆髄材により保護すること。（ただし、ユージノール系裏装材は使用しないこと。）
- 2) 照射光は直視を避け、保護眼鏡などを使用すること。
- 3) 本材は揮発成分を含んでいるため、使用後は速やかにキャップを閉めること。
- 4) デンティンプライマーとボンディング材の混合は避けること。
- 5) デンティンプライマーとボンディング材は、感染防止のため同一患者のみに使用すること。
- 6) 接着を確実にするため、エッチング処理面は充分に乾燥してからボンディング材を塗布すること。
- 7) 処置する際は、排唾管やバキュームを作動させ、口腔内の水、唾液などを吸引すること。

### 【使用上の注意】

#### 〔重要な基本的注意〕

- 1) 本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材及びメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材との接触による過敏症を防ぐため、プラスチック手袋、保護眼鏡の着用などの防護措置を執ること。又、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。口腔軟組織や皮膚に付着した場合はすぐにアルコール綿などで拭いた後、大量の流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
- 5) 液は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 6) 本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされた場所で使用すること。

#### 〔その他の注意〕

デンティンプライマーは歯肉等の粘膜に付着した場合、その部分が白っぽくなることがあるが、これは一過性の現象で、2～3 日で白変は消失する。なお、この間は、白変部分に直接的な刺激を与えないように配慮すること。（ブラッシング等は避けること。）

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 〔保管方法〕

- ・デンティンプライマー及びボンディング材は、直射日光、火気を避けて、冷蔵庫（1～10℃）に保管すること。
- ・エッチングゲルは、直射日光を避けて、室温（1～30℃）に保管すること。
- ・本材は、同一場所に多量に保管しないこと。
- ・本材は、使用后、速やかに蓋を閉めて保管すること。
- ・本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※ (例  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 製造販売業者 | 株式会社 松風                      |
| 住所     | 〒605-0983<br>京都市東山区福稲上高松町 11 |
| 電話番号   | 075-561-1112                 |